

令和3年度 第2回

逗子市子ども・子育て会議
会議録

令和3年7月1日開催

令和3年度 第2回逗子市子ども・子育て会議 会議録

日 時	令和3年7月1日(木) 14時から 15時30分
開催場所	逗子市役所 5階 第2会議室
出席者	<p>【委員（名簿順）】</p> <p>前島委員、石井委員、角田委員、小関委員、中島委員、飯野委員 森委員、横地委員、竇川委員、野坂委員</p> <p style="text-align: right;">以上 10名</p> <p>【事務局】</p> <p>村松部長、島貫次長（兼子育て支援課長）、村上保育課長、藤井療育教育総合センター長、栗飯原保育課副主幹、今野保育課主事、坂本副主幹、牧野主事 社会福祉協議会 木村事務局長</p>
欠席者	隈部委員、広田委員、柴田委員、杵山委員
開催形態	公開（傍聴者なし）
議 題	<p>(1)【報告】子ども・子育て支援施策の実績報告書について</p> <p>(2)【議案】保育の利用調整基準の改訂案について</p> <p>(3) その他</p>
議 事	別添 議事録要旨のとおり
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 出席者名簿 ・ 資料1 令和3年度第1回逗子市子ども・子育て会議における各委員からのご意見・ご質問及び事務局からの回答 ・ 参考資料 市町村における児童等に対する必要な支援を行う体制の関係整理（イメージ図） ・ 資料2 保育の利用調整基準の改訂案（令和4年度入所用） ・ 当日配布資料1 点数（改訂前） ・ 当日配布資料2 点数（改訂案）

令和3年度 第2回逗子市子ども・子育て会議

令和3年7月1日(木) 議事録要旨

【議題】

- (1) 【報告】 子ども・子育て支援施策の実績報告書について
- (2) 【議案】 保育の利用調整基準の改訂案について
- (3) その他

1. 開会

- ・委員 14 名中 10 名出席
 - 「逗子市子ども・子育て会議条例」第5条第2項の規定に基づき、会議が成立していることを報告
- ・会長あいさつ
- ・委員自己紹介
- ・部長あいさつ
- ・事務局ほか出席者自己紹介
- ・署名委員 会長、6 番中島委員、12 番野坂委員

2. 議題

(1) 【報告】 子ども・子育て支援施策の実績報告書について

事務局より、令和3年度第1回逗子市子ども・子育て会議において、子ども・子育て支援施策の実績報告書に関して各委員から寄せられた、ご意見・ご質問に関し、事務局からの回答を説明（資料1・参考資料）（説明省略）（質疑応答）

【横地委員】

量と見込みと確保策についての表だが、当初の計画と実際に1年経過した実績を比較しているが、その差の理由や状況が分かると今後の対策になるのでは。

【事務局(村上保育課長)】

計画値と実績値の差であるが、各保育園での受け入れ人員で変わってしまう。

【横地委員】

受け入れ人員も保育士の数で変わってしまう。また、育児休業の普及で、0歳児よりも1歳児での入園希望が多い。このため、少ない保育士をどの年齢に配置するかもある。保育士の雇用は園の経営にも関わる。今後も、このような状況では、差が出てきてしまうのではないかと。

【事務局(村上保育課長)】

ご意見を重く受け止め、来年度に向けて考えていきたい。

【小関委員】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響や、また、保育士の確保も難しい、というご意見もあったが、令和3年度に向けて、何か対応等があるのならば、お伺いしたい。

【横地委員】

令和3年4月の入園は、例年と違う予測できない動きがあった。既に新型コロナウイルス感染症の流行が1年経過しているが、それでも、0歳児の入園辞退者が多かった。保育士を0歳児の担任にしても、入園児がおらず年度途中で、異なる年齢の担任に変更するなどしている。逗子市内の保育士は、結婚や出産後も勤務を継続する者が多い。産育休や育児短時間勤務の代替を派遣やパートタイマーで補うが、これらの保育士は、勤務時間や担任を希望しないなど、雇う側と雇われる側のニーズが mismatch してしまい、結果、正規で採用している保育士が早番や遅番を行い、そのヘルプをしてもらっている。全国的にもそうだが、神奈川県では、園児に対する保育士の人数の徹底が厳しい。このため、勤務のシフトを作成するのが難しい。また、利用者側でも、テレワークの浸透が、夕方7時まで預かるが、6時を過ぎると迎えに来る保護者が多くなった。その、保護者の顔もほぐれた感じ。リラックスした服装など数値には表せない感覚だが、ほぐれたなという感覚はある。延長保育のニーズが減っているが、保育士の状況から、シフトには苦慮している。地域への開放も、去年は新型コロナウイルス感染症の影響で、ほとんどできず、レスパイトのための一時保育もほとんどなかった。現在は、予約制で行っており、コロナ前より少ないが、徐々に伸びてきている。

【事務局(村上保育課長)】

各園には、コロナの影響でご迷惑をかけている。この4月は、育児休業を延長する者が多かった。次年度は、その揺り戻しが来るのではと危惧している。それでも、市内の各園にご協力いただき、できるだけ保護者の要望をかなえていきたい。

(2)【議案】保育の利用調整基準の改訂案について

事務局より、令和4年度入所児童に適用する、保育の利用調整基準の改訂案を説明。(資料2 保育の利用調整基準の改訂案(令和4年度入所用)、当日配布資料1 点数(改訂前)、当日配布資料2 点数(改訂案))(説明省略)(質疑応答)

【小関委員】

2点お伺いしたい。1点は、リモートワークの保護者が多いと前議題でも話題になったが、この改訂案の中では、どのように反映されているのか。もう1点は、資料中才の欄にある保育園入所の内定を辞退した場合、次年度以降に入所を希望した際に、何かペナルティーのようなものがあるのか。

【事務局(村上保育課長)】

リモートワークについては、就労証明書の中でどのように記載されるのか次第であり、コロナにより出勤せず在宅で仕事をするのか、もともと、自宅で仕事をするのかといった、違いがある。内定の辞退をしたことがある場合は、例え3年前であっても、それは含まれる。

【中島委員】

Gの介護・看護であるが、保育園に入れたい児童の兄弟で、重度の障がいにより医療的な介護や重度の知的障がいにより日常的に面倒を見なければならない場合はどうか。

【事務局(村上保育課長)】

障害者手帳や介護度の認定、医師からの意見書等を確認させていただく。

【寛川会長】

審議事項なので、改訂案に対して、何か質問や意見はないか。

【横地委員】

前回の改訂の際には疑問に思わなかったのだが、現在と内容が変わらないままの、改訂案の11・12番であるが、第1子がA園にあり、第2子もA園に入りたいとすると、10点。誰もA園には入

園しておらず、第1子と第2子が同時にA園に入りたいと11点。この1点の差で、後から入りたい第2子が入れない。ので、他園に入り、翌年に13番で転園を希望すると30点でA園に2人とも入れるということか。

【事務局(村上保育課長)】

基本点数が同じであれば、そうなる。

【横地委員】

過去もそうなので、その時に疑問に思えば良かったのだが。

13番のところで、1年我慢すればいいが、その間に、第1子が卒園してしまうこともある。

例えば、11・12番の点数が同じならば、どのようになるのか。

【事務局(栗飯原保育課副主幹)】

1点差であるが、12番は上の子も下の子も手元で育て、改めて保育園に入れたいという1点アドバンテージをつける。11番は育児休業中でも保育園に預けているのが、まったく保育サービスを受けていないということでアドバンテージをつけている。

【横地委員】

育児休業中に、一旦退園し入園枠を譲った方と同じような意味合い。

【事務局(栗飯原保育課副主幹)】

そのとおりであり、19番。

【事務局(村上保育課長)】

上の子が退園していれば、19番が適用され、上の子も入っていなければ、12番。

【角田委員】

13番は、前回の改正時にはあったのか。

【事務局(村上保育課長)】

今回からであり、今回改正の主だったものである。

【飯野委員】

親とすると、兄弟で異なる園となると、大変であった。平地にある園なら良いが、坂の上の園では大変だった。

【角田委員】

このような細かい決まりは、市民に公開されているのか。市民が、どのタイミングなら入園しやすいのかとわかるのか。

【事務局(村上保育課長)】

入園申込書とともに配布している。来年4月入所分から適用されるように考えている。今日の審議で承認された場合、パブリックコメントを行い、その結果を含め、9月下旬から10月上旬に、再度本会議に報告させて頂いて、4月からの入園に対応できるようなスケジュールとなっている。

【寛川会長】

その他、意見がなければ、事務局で一旦整理いただけるか。

【事務局(村上保育課長)】

先ほどの、11・12番にご意見がなければ、原案のままとさせていただいてよろしいか。(意見なし)

【寶川会長】

それでは、採決を取らせていただきたい。本日の改訂案を承認いただける方は、挙手を。(満場一致) 議案2を終わるが、その他として何かあるか。

【小関委員】

昨年度は、コロナの影響で閉所や、学童保育の保育料の改訂などがあったかと思うが、その状況を書面等でもよいので報告されたい。

【事務局(島貫次長)】

後日、まとめて報告する。

3. 閉会

以上により議事を終了し、第2回逗子市子ども・子育て会議を閉会し、散会した。